

2日間で、 11ルート確保。

一刻も早く。

がれきを処理し、段差を直し、救命・救援ルートを切り開いた。

負傷者の命を救い、被災者に緊急物資を届けるルートを確認せよ。

被災直後に立案された「くしの歯作戦」のもと、道路の「啓開」が実施された。啓開とは、切り開くこと。

県の職員、陸上自衛隊、地元の建設会社、国土交通省 東北地方整備局の職員たちが一丸となって、がれきの中を突き進んだ。余震が続き、津波警報が出されている中、「一人でも多くの命を助けるために」という思いで懸命の作業が続いた。それにより、翌日の12日には11ルート、15日には15ルートが開かれ、救急車や警察、自衛隊などの緊急車両が通行可能に。

医療チームも被災地に入ることができ、支援物資なども届けられることとなった。

啓開「くしの歯作戦」作業
岩手県 陸前高田市

